

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 吉野 康平

通建連合『労働安全衛生強化期間』 期間：2025年1月14日～2月28日

通建連合と各構成組織は、安全労働を運動の重要な柱と位置付け、安全衛生委員会等の場において各社の安全施策の展開状況について安全対策等の確認を実施するとともに、すべての働く仲間の安全と健康が守られ、安心して働ける職場環境整備に向けて取り組んでおります。

しかし、全国的に労働災害の連鎖は止まることなく、これまで発生した同種の事故も散見される状況にあることから、「現場の自律安全推進」に向けた活動の具現化が必要であるとの認識のもと、1月14日～2月28日の期間において、通建連合「労働安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズ（ウェットティッシュ型除菌シート）を配布しながら労働安全衛生水準の向上に向けた注意喚起を行うとともに、昨年徳島県で発生した交通誘導員の事故を踏まえ、交通誘導員の「生の声」を聴く Web アンケートを実施することを決定してきました。

インフラ東北管内においても死亡事故という痛ましい類似事故を発生させない為にも、安全意識の向上・啓蒙活動等の取り組み強化に向け、以下の内容で取り組みを展開することとします。



インフラ東北としての取組内容

期間：2025年2月1日 ～ 2月28日

- ①各職場の朝礼等において注意喚起の実施
⇒組合役員・分会長が参加し取り組み趣旨の説明および安全グッズ配布による啓蒙活動
- ②現場（労使合同）パトロールの実施
⇒労使合同による現場第一線の方々との対話を重視したパトロール
- ③交通誘導員の「生の声」を聴く Web アンケートの実施
⇒オンラインと口頭アンケート2通りの実施方法で実施
質問項目 20 問程、所要時間約 5 分

皆様のご協力よろしくお願いします
WEBアンケートQRコードこちら👉



インフラ東北『安全衛生統一行動』 取り組み結果について

インフラ東北は、「安全労働はすべてに優先する」との基本認識のもと「安全で安心して働ける職場の確保」を目指し取り組みを実施しております。2024年11月29日～12月31日の期間において、インフラ東北「安全衛生統一行動」として、各職場での安全グッズ（3色ボールペン）配布による注意喚起や作業員の方々との対話を重視したパトロールを実施させて頂きました。パトロールの様子は以下の通りです。

＜パトロール実施模様＞



＜対話内容（抜粋）＞

Q.各種安全施策についてどのように感じていますか。（施策数や内容等改善してほしい点）

- ・市街地以外の山林や通行止め箇所など、車両や歩行者等の第三者の通行がない場所において、保安策や看板などの安全施策を一部省略するような対応を検討いただきたい。
- ・REC's フラッシュャーの有効性については感じているが、何度も作業箇所を移動する際、何度も設置しなおさなければならないため、工事車両などに設置できるように検討願いたい。
- ・NW カメラの有効性は認識しているが、100%設置となると厳しい部分もあるため、危険工程のみでの対応となるよう検討いただきたい。
- ・NW カメラのメリットは認識しているが、撮影時にお客様に了解を得ているものの、苦情も出ることもあるため、一目で安全施策の一環であると認識頂けるような施策を検討いただければありがたい。
- ・これまで事故が発生することにより安全施策が追加され、作業を行うまでに時間を要するため、安全施策の棚卸をしていただきたい。

Q.安全意識を高めるために有効だと思う施策はあるか

- ・作業員自身で施工方法・安全施策などを考えることが多く、作業を行うことに対する焦りに繋がることもあるため、すべての工事に丸腰指揮者配置を検討してみてもどうか。
- ・作業を行ううえで、少しでも疑問に感じる事があれば、元請け（現場代理人など）に都度確認することは大切だと思う。
- ・事故の映像を視聴することにより、文字やイラストだけでなくイメージが付きにくい為有効があると思う。
- ・事前の現場調査を必ず実施することで、施工箇所毎に安全施策がイメージでき、安全意識の向上につながると思う。
- ・再発防止施策として、注意喚起シールを設置していることにより、近道行動の防止に向け有効と感じる。

Q. その他現場の問題・課題、困りごと 等々

- ・日々異なる作業環境のため、事前に現場確認は必ず行って頂けると嬉しい。
- ・地上高不足や引込柱が必要でBOになることがあるため、現場調査を必須にして頂けると嬉しい。
- ・一斉安全休工日の取り組みについては、非常に良いと思う。休日は交代制で施工しているが、この施策のおかげで家族と過ごす時間が確保できている。
- ・住宅地でNW カメラのアンクルに注意を受ける事がある。
- ・施工写真撮影の必須項目を減らして頂けると嬉しい。
- ・安全の為には施策が必須と感じるが、施工効率を踏まえて施策を検討頂けると嬉しい。

現場での対話において皆様から頂いた意見は、安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行ってまいります。

皆様のご協力ありがとうございました！